

ブラジル関連会社が水力発電所関連業務を受注

平成 26 年 2 月 19 日

東洋エンジニアリング株式会社

東洋エンジニアリング株式会社 (TOYO、取締役社長 石橋 克基) のブラジル関連会社のトーヨー・セタール・エンプレジメンツ (TSE) は、ブラジル大手エンジニアリング会社エンジェビックス・エンジェニアリア及びエンジェビックス・コンストルソエス (Engevix) とのコンソーシアムで、民間電力会社ノルテ・エネルジアが、北部パラ州アマゾン河支流のシングー川流域に建設しているベロモンテ水力発電所における、タービン、水圧鉄管、及び変電設備等の据付工事と試運転助勢業務を受注しました。納期は 2018 年末を予定しています。

2011 年より建設が開始された本水力発電所の発電能力は約 11,000MW で、世界第 3 位となる発電能力を有します。コンソーシアムリーダーの Engevix は、ブラジル国内で数多くの水力発電所建設の実績を有しております。また TOYO の合弁パートナーである SOG は、南東部ミナスジェライス州イラペ水力発電所の水圧鉄管据付工事を手掛けています。

TSE は現在ペトロbras向けに、コンペルジェ石油精製・石油化学コンビナートの水素製造設備やカビウナスのガス処理プラント等のプロジェクトを実施中です。ブラジル国内に根差したエンジニアリング会社として、石油・ガス関連設備のみならずインフラ案件についても市場を開拓してまいります。

受注概要

- 客 先: ノルテ・エネルジア (Norte Energia S. A.) (電力会社を中心に設立された民間合弁会社)
- 受注者: エンジェビックス・エンジェニアリア (Engevix Engenharia S.A.) 及びエンジェビックス・コンストルソエス (Engevix Construções Ltda.) とトーヨー・セタール・エンプレジメンツ (TOYO-SETAL Empreendimentos: TSE) とのコンソーシアム
- 建設地: ブラジル・パラ州 ベロモンテ (Belo Monte)
- 対象設備: 水力発電所用タービン (611MW x18 基)、水圧鉄管 (直径 11.6m x 全長 115m x18 本)、変電設備、等
- 役務内容: 据付工事及び運転助勢業務 (機器資材調達は客先所掌)
- 納期: 2018 年末の予定
- 契約金額: 約 10 億レアル (約 4 億 3 千万米ドル相当)

TSE: 2012 年 5 月に TOYO とブラジル大手エンジニアリング会社 SOG-オレオ・イ・ガス (SOG) がそれぞれ 50% ずつ出資して設立したブラジル法人 TS パーティシパソエス (TSPI) の 100% 子会社として、主に陸上設備に係る EPC を実施する事業会社。TSPI は TOYO の持分法適用会社。

<お問い合わせ先> 広報・IR 室 [担当: 佐藤、深沢] TEL: 047-454-1113